

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FW

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

養老町立広幡小学校 様

広幡小学校様の教育目標は『豊かな心を持ち たくましく生きる子』です。夢や目標をしっかりともち、未来に向かって一歩「前へ」歩み出す事で、素晴らしい生き方を実現できるよう、あるときは歩む姿・挑戦する姿を温かく見守り、あるときは力強く導き、あるときはそっと背中を押しながらより望ましい姿へと育てる学校を目指してみえます。

児童のために、先生のために

ORPHISを導入する前は、多枚数刷るとランニングコストが安くなるモノクロの孔版印刷機を使用していました。全校生徒の約100人分を刷る時は低コストで印刷ができていましたが1学年分(20人前後)を刷るとモノクロでも少し高くなってしまふ為、1枚~多枚数までカラーもモノクロも気軽に印刷できるカラーインクジェットプリンター：ORPHIS FW5231が導入された事により、授業で黒板に貼って使うような数枚の資料や、イラストや地図の多い社会などの授業のプリントはカラーで印刷をするようになりました。それにより私達教員は色等で説明がしやすくなり、児童達も写真やイラストからのイメージがしやすくなったと思います。また算数の授業で使うグラフをORPHISの面付け機能を使って8面付けで印刷した所、ノートに貼れるサイズに断裁をして配ることが簡単になると共に、教材をカラー化にする事によりモノクロに比べ伝わりやすくなり、児童が見返した時に分かりやすいノートづくりの手助けができ、「理解が出来る=やる気UP」に繋がっていると思います。

更にORPHISの印刷スピードにも助かっています。昼休み等の休憩時間は移動時間も含まれている為、製版のないORPHISならファーストプリントが5秒以下の為、短い休み時間にも印刷ができ、急に必要なプリントを印刷したいときにも便利です。またジムブレンさんが毎月オリジナルで作成している「広幡小学校ORPHIS診断表」からランニングコスト算出結果に基づいて印刷相談を受けてもらっていますが、広幡小学校はカラーとモノクロを合わせて1枚あたり約0.8円~1.2円という低コストで印刷ができています。よくカタログにメーカー算出のコスト表記はありますが、ジムブレンさんのように広幡小学校向け独自のランニングコスト・分析表として出していただけると、コストに対する安心感とORPHISの特徴が本当に解りやすく、機械性能以上の価値をフルに堪能していますよ。

地域との繋がりの手助けに

広幡小学校ではコミュニティースクールとして草刈りなどのお知らせやお便りを毎月モノクロで600~700枚ほど印刷しています。また毎年ある敬老会では封筒にモノクロのイラストを200枚~300枚ほどを印刷し、子供たちが色を塗ってメッセージを書いた手紙を入れたものを地域の方へお渡しています。封筒印刷もジムブレンさんに設定方法を教えていただき、少枚数から多枚数、厚紙や封筒などの特殊な用紙も1台で賄えてしまうところは流石ですね！

また、ジムブレンさんは営業さんだけではなく、メンテナンスさん、サポート支援の方3人で定期的に訪問をしてくれる為、分からない時や困った時に気軽に相談ができるので心強いです。

求めること

学校では教材に載っている部分的なイラストを拡大印刷して使用する事が多いですが、ORPHISは印刷をしたい部分の範囲指定をしないと用紙サイズが違うというエラーの表示がでてしまう為、賢すぎるのも時々不便ですね(笑)
またORPHISは普通紙以外の印刷もできる為、通知表や名簿など少し厚めの紙に印刷をしたい時には便利ですが、FW5231だとカセットがなく給紙先が1ヶ所のみで用紙の入れ替えが手間なので、もし次回入替えの時がきたらFW5230の様なカセットが付いているタイプがいいですね。



カラーもモノクロも手軽に印刷。やはりカラーを使うと良い！

営業担当者の声

営業担当：尾関 紀彦



地域へのコミュニティツールとしてORPHISを有効活用していただいているとお聞きし、大変嬉しく思います。
今後も長くご使用いただく為、更にORPHISの利便性を感じていただける様、アフターフォローに努めて参ります。